

# 桐生西ロータリークラブ週報



2011-12年度RIテーマ

カルヤン・パネルジー RI会長 こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi  
 会長 江原 利夫 広報活動委員長 阿左美 博 広報活動委員 井本 上穂・武井 善作  
 幹事 天沼 一夫 クラブ発刊担当 森村 年勇 羽島 隆 (総務課長・IT・CIO担当)

No. 1830

2011年11月19日発行

## 第1944例会 (2011・11・11) 報告 (B方式)

- |                                    |              |                |
|------------------------------------|--------------|----------------|
| 1. 食 事                             | ポール・ハリス・フェロー | 授与             |
| 2. 点 鐘                             | 6. 会長報告      |                |
| 3. ロータリーソング                        | 7. 幹事報告      |                |
| 4. 来訪者紹介                           | 8. 委員会報告     |                |
| 5. ベネファクター、<br>マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、 | 9. 卓 話       | 高砂青松RC・原田義之君   |
|                                    | 10. 点 鐘      | 例会終了後40周年打合せ開催 |

- ◆ビジター 高砂青松RC (兵庫県) 原田義之君
- ◆ベネファクター授与 正田恵一君
- ◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー授与  
 〈2回目〉 武井善作君、花房孝道君  
 〈初 回〉 坪井良行君
- ◆ポール・ハリス・フェロー授与  
 近藤幸利君、霜村年勇君



4. 1日(火)に浪江町教育委員会で40周年記念事業の贈呈式を行いました。畠山教育長さんからお礼状が届きました。贈呈式に出席出来なかった4家族8名に、教育長さんが電話で説明し、郵送で受け取って頂いたそうです。突然のことで、どのご家族も驚かれた様子であったそうですが、この温かい支援に心から感謝されていたそうです。先行きの見えない中、不自由な避難生活を送っているそうですが、この支援を力にして寒い冬を何とか凌いでいきたいと考えているそうです。クラブの皆様にも呉々も宜しくお伝え下さいとの事です。

また、昨日は贈呈式に出席されたお祖父様から、事務局へお礼の電話がありました。母子家庭であった上に震災で孤児になり、お祖父様が引き取ったそうです。皆さんに宜しくお伝え下さいとの事でした。

◆幹事報告 天沼幹事  
 ◇次例会は19日(土)の創立40周年記念式典並びに祝賀会に振替です。  
 また次次例会の11月25日(金)は早朝清掃です。

(AM6:30集合、桐生運動公園)

次の通常例会は12月2日(金)の年次総会となります。

◇例会終了後40周年打合せを行います。また登録料の集金も行っておりますので、宜しくお願い致します。

◇ハイライトよねやま140が配信されました。(各テーブルに配布)  
 ◇藤岡RC主催『第12回青少年合唱団群馬県フェスティバル』のご案内とポスター、並びに群大工学部留学生との懇談会のお礼状が届いております。

◇例会変更のお知らせ

高崎東RC 11/17,11/24 沼田中央RC 12/15,12/29,1/5

◇クラブ会報が到着しています

桐生RC 11/7 桐生中央RC 10/27,10/31

桐生南RC 10/31,11/2 桐生赤城RC 10/25,10/31

◆食事メニュー 1345キロカロリー

魚介と青菜のクリーム煮、一口ヒレカツ、ツナサラダ、牛肉と茸のカレー風味スープ、白飯、香の物、リンゴゼリー

### ◆会長報告 江原会長

1. 本日は矢野パストガバナーのご紹介により、兵庫県のRCから卓話者をお呼びしております。昨日来桐され、昨晩は乾会員と伊香保に宿泊されたそうです。NPO法人タイ国学生日本語教育環境支援プロジェクトを立ち上げられ、理事長をされております。ロータリーの友9月号でも紹介され多くのクラブで卓話をされております。本日は感動的なお話が聴けると思います。宜しくお願い致します。
2. 40周年記念式典がいよいよ来週に迫りました。昨晩、最終の実行委員会を開催しました。また全会員による打合会を例会終了後、行いますので、宜しくお願い致します。
3. 本日例会開始前に例会運営委員会を行い、1～3月のプログラム予定を計画しました。

◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告

前原クラブ運営委員長

総数49名（免除者10名の内7名出席の為3名を除く）  
出席率対象者46名、出席率対象者出席人数40名  
欠席者6名（内前メイク0名）出席率86.96%  
前々例会修正出席率90.70%（最終欠席者4名）

□拠金委員会

◇ニコニコBOX

阿左美拠金委員

原田義之様、遠路から卓話ありがとうございます  
矢野君、江原君、新木君、乾君、天沼君、金子君、船戸君  
40周年は欠席になります。宜しく願います 津久井君

◇ロータリー財団

近藤R財団担当

原田義之様を卓話にお迎えして  
矢野君、天沼君、新木君、石川君  
原田さんタイに行っても頑張ってください 乾君  
今月はロータリー月間です。拠金を宜しく願います  
中野君、阿左美君、近藤君  
今日は佳き日です。夢が叶いそう(2011.11.11のゾロ目)  
江原君

◇米山BOX

松尾ニコニコBOX担当

原田義之様、卓話を楽しみにしております  
矢野君、天沼君、新木君、津久井君

卓 話



RI第2680地区WCS委員  
NPO法人タイ国学生日本語  
教育環境支援プロジェクト理事長

原田 義之 君  
(高砂青松RC)

「輝く瞳に会いに行こう」

昨日、神戸から参りまして、矢野先生にお世話になりました。

今週の火曜日に私の記事が神戸新聞に載りましたので、皆様のお手元にお配りしました。またこの春、幻冬舎さんから私の20年間のタイ北部、そしてここ5年間のアカ族の識字向上のドキュメンタリーを本にして『輝く瞳に会いに行こう』を出版しました。

私は、ミャンマー、ラオス、タイ国境近くのチェンライのワヴィー村というアカ族の村に入って子供達の識字向上を行っています。

タイでは象1匹210万円、車1台240万円、人の命(自賠責最大保証額)は70万円です。

タイの物価は日本の約5分の1です。

また、タイ人の時間感覚は、約束の時間に1時間は遅れます。これがタイタイムです。私が1時間もどうして遅れたのか問い質すと、絶対に謝ることはしません。タイ語には謝罪の言葉が無いのです。

20年前にタイで製造業を始めました。品質と納期について技術者に説明をしました。彼等は「カウチャイ」(わかった)と言いましたので、私は納期が来たので、出来た製品を楽しみに再び訪れると、仕上がっておりません。私は彼等に「カウチャイ」と返事したではないか。何故出来ていないののだ?と聞くと、「わかっ

た」と言ったけれど、「する」とは言ってないよ」と答えました。日本人の常識はタイ人になると非常識なのです。こちらがタイ人化するしかありません。

それでは、どうして私がタイの北部に入る事になったかをお話し致します。20年前、当社もタイへ進出しました。またロータリアンとなって間もない頃でしたが、WCS委員長を命ぜられました。何となくバンコクでテレビを観ておりましたら、タイ北部の小学校で、子供は裸足で先生は農民服で、バンコクのNGOから贈られた古本に大喜びしている姿を見ました。その時、私は長岡藩の「米百俵」の話が閃き、「知識」は届ける事が出来ると思い付きました。それで私は直接タイ北部のRCと提携して、日本のロータリーの資金10万円がタイでは5倍の50万円になるので、タイの子供達へ知識を与える活動をしようと現地へ行きました。勿論チェンライのRCは大歓迎してくれましたが、一番困っているのは「水」で、是非学校に井戸を掘って欲しいと言われました。しかし新米のロータリアンの私が年度跨る事業を行う事は無理ですが、「本」を贈る事は可能です。その事を理解して貰い「クンパイヤ文庫」(あすなる文庫)として16年間に30の小学校に図書を寄贈し続けました。最初言葉が通じませんでしたので、豊田さんという日本人男性と知り合い、そこでアリヤさんという26歳のアカ族の男性とも知り合いになりました。

クンパイヤの15周年の席でアリヤさんと再会した時、彼からアカ族の子供達の深刻な問題を打ち明けられました。彼等は文字を持たない為に、大人になって街へ出て働き出すと、最初のうちは我慢我慢で非常に少ない賃金で真面目に働いても、次第に売春や麻薬の運び屋となってしまい、エイズのキャリアとなって村に戻って来ると言います。彼はその問題をどうにかして解決したいという事でした。それで私は、少なくとも私が出会った子供達だけでも、エイズや麻薬のキャリアの予備軍にはしてはいけないという思いで始めたのが、アカ族の識字向上活動です。

そして5年前にこれを支援する為にNPOを立ち上げ、チェンライの最北端の高校をベースキャンプとして日本語のボランティア教師を始めようと思いましたが、ダムロン高校の校長先生に私の思いを伝えたところ、私の期待に反して、「貴方は教える資格を持っているのですか?何語で教えるのですか?」という言葉でした。私は日本に帰って、64歳にして日本語を教える資格を取って、60歳から学び始めたタイ語を三宮のタイ語学校に今でも通って更に磨きをかけて、タイ語で日本語を日本文化を教えています。いま教え始めて4年目になりますが、学校から1円たりとも貰っておりません。

それは、豊田さんのひと言「このタイ国で真の奉仕に身を置くと、宝石箱の蓋を開けたような素晴らしい煌めきに出会えますよ」という言葉に私は驚き、目から鱗が落ちる思いがしたからです。そして豊田さんのもう一つの言葉「自ら奉仕の世界に入り、自分でその宝石箱を開けなければ、真の煌めきは見えませんよ」という言葉です。

私は20年以上かかっても構いません。「その宝石箱を開けられる夢」の全てが果たせるまでは、自分の青春と思っています。それが果たせたら、その日から老後の生活に入るのかと思います。

『輝く瞳に会いに行こう』の売り上げの一部と印税はアカ族の子供達の支援に使われます。

《次例会予告》

11月25日(金) 早朝清掃

集合時間 AM6:30、場所 桐生運動公園